



聖和園便り

なでしこ



目次

園長挨拶	2
栄養課特集	3
すまいる	4~6
「済生」より	7
年女・新人紹介・感謝の広場 ...	8

No.54

令和7年4月1日発行

発行所

社会福祉法人 済生 福井県済生会 聖和園
福井県大野市蔵生158字35番地
電話 0779-66-3307
発行責任者 追別 小夜子



ホームページ <http://www.saiseikai-seiwaen.jp/>

新年度に向けて



社会福祉法人 恩賜財団 福井県済生会聖和園

園長 追別 小夜子



雪深い奥越にも。一陽来復の季節が訪れ、心機一転、新年度をスタートいたしました。

西暦2025年はいわゆる団塊世代といわれる方々がすべて後期高齢者となれることで、医療や介護の需要が急増し社会保障制度に大きな負担がかかる予想されています。また、若年層の人口が減少しているため、労働市場は人手不足に直面し、特に介護や医療分野では深刻な人手不足が予想されます。地域社会においても、高齢者が多くなることで地域の社会構造が変わり、地域コミュニティの支援や住みやすい環境の整備が求められています。

本市における少子高齢化率は、国や県の平均を上回る状況であり、今後、医療、介護、障がいのある根拠を超えて地域を支えていく必要があると考えます。

令和7年度は、聖和園が地域においてより一層の貢献を果たすために、以下の三つの重点課題に取り組んで参ります。

まずは、「地域貢献活動」です。地域の皆様との結びつきを深めることは、私たちの使命の一つです。地域イベントへの参加や、交流の場を設けることで、高齢者と地域の方々が共に過ごし、支え合う関係を築いていきたいと考えております。

次に、「人材確保」です。質の高い介護サービスを提供するためには、優れた人材の確保が不可欠です。私たちは、職場環境の改善や教育・研修制度の充実を図り、スタッフのやりがいを持って働ける職場づくりに努めて参ります。

最後に、「ケアの質の向上」です。利用者様一人ひとりのニーズに応えるために、最新の技術や知識を取り入れたケアを行ってまいります。また、ご家族とのコミュニケーションを大切に、皆様のご意見を反映させながら、安心できる環境作りに力を入れてまいります。

これらの取り組みを通じて、地域に根ざした、信頼される施設を目指して精進して参ります。私たちの活動に対し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

次長 山口 浩 主



新年度を迎えるにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

ありがとうございます。

今年は2025年問題の初年度になります。聖和園も、これからの人材不足の中で、いかに、質の高いケアを展開するかが求められます。そこで、聖和園は、ケアの質の向上にむけて、各専門職の専門性をさらに高めることに取り組んでいこうと考えております。

専門職の持つ知識や技術は、ケアの質に大きな影響を与えます。それぞれが持つ専門性を活かし、多職種連携を図ることで、より良いサービスを提供できるようになると考えております。

具体的には、専門職の役割、業務、求められる知識、スキルを明確にし、利用者様のニーズに応じたケアを展開し、協働の深化に取り組む計画です。

今後も、利用者様、家族様はもちろん、地域の方々から信頼される施設であり続けられますよう、職員一同、一層精進努力して参りますので、引き続き、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

栄養管理グループが厚生労働大臣表彰を受賞しました

令和6年度栄養関係功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞しました。

利用者様一人ひとりに合わせた食事形態の提供や旬の食材を使った季節の行事食などの取り組みが評価されました。

今後も利用者様の日々の楽しみとなるような、おいしい食事作りに努めて行きます。



厨房設備が新しくなりました!!

厨房の老朽化に伴い、昨年10月中旬から約3か月間で、改修工事を行いました。利用者様に、より安全で安心な食事を提供することができるようになりました。



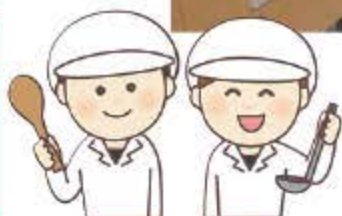
厨房内の様子

- ・照明がすべてLEDで明るくなり、床や壁が張り替えられて、より快適になりました
- ・清潔区域と汚染区域の区分けが明確になり衛生面が強化されました



リヒートウォーマー

- ・新しく導入されたことで、早出の時間を見直し働きやすい環境づくりができました



配膳車ブール

- ・配膳車ブールが広くなり、スムーズに作業ができるようになりました

いる

特 養

特養グループでは2月に節分喫茶を開催しました。
みんなで楽しくケーキやプリンを食べて福を呼びました。
鬼のお面をかぶり、記念写真を撮ると鬼が逃げ
行ってしまうくらいの笑顔が沢山見られました。
今年一年も皆さまが健康で楽しい一年を
過ごせますように(^ ▽ ^)



節分喫茶
東G



節分
南G



聖和園では「思い出の創出」や「心のリフレッシュ」を図るため、毎月季節を感じるイベントを実施しています。

デ イ サ ー ビ ス

デイサービスではキャサリンショーをはじめ、
外出やイベントなどを毎月実施し
ご利用者様に笑顔で過ごしていただけるよう
取り組んでいます。

すま



シヨートステイ

クリスマス会



バレンタイン (お菓子作り)



ハロウィン (お菓子パーティー)

季節ごとの彩りを、笑顔で包むわらびの郷。
ハロウィンの甘いパーティ、きらめくクリスマス会、笑顔にほれる新年会に、心を込めたバレンタインのお菓子作り。
どの行事も、大切な誰かを思う優しさであふれています。
ここで過ごす時間が、心のアルバムにそっと残りますように。

新年会(二人羽織)

わらびようデいに、たくさんの「おめでとう!」が響きました。
今年の1月はなんと8名の方のお誕生日をお祝いできました♡
みなさんの笑顔がまるで花のようにほころびます。
「長生きの秘訣は?」と尋ねると、
「毎日を楽しむ」「周りの人に感謝すること」「いっぱい笑うこと!」
温かくて、まっすぐな言葉が胸にじんわり染みしました。
お誕生日は、新しい一年のはじまりの日。
これからも皆さまが健やかで、笑顔あふれる毎日を過ごせますように。

わらびようデイ



地域とつながる、 支え合う介護のかたち

～専門職の連携と地域交流を深める取り組み～

地域と施設がともに支え合い、より良い介護環境を築いていくために、聖和園ではさまざまな取り組みを行っています。今回は、専門職が集まり実際の事例をもとに助言を行う「地域ケア会議」、地域住民との交流を深める「地域交流会」、施設運営の透明性を高め、利用者やご家族と意見を交わす「運営推進会議」の3つの活動をご紹介します。

令和6年度 第1回 大野市地域ケア会議に参加 ～認知症ケアの視点から助言～

5月15日、大野有終会館にて「令和6年度 第1回 大野市地域ケア会議」が開催されました。本会議は、実際の事例をもとに、介護支援専門員や訪問看護師、作業療法士など多職種がそれぞれの視点から助言を行う場です。当園からは、認知症ケア専門士としてわらびようデイサービスセンター配属の野尻が出席しました。

会議では、認知症のある方を家族で介護する際の困難（介護への抵抗や拒否）や課題、今後の関わり方について、認知症ケアの視点から助言をさせていただきました。大切なのは、まずご本人の想いに耳を傾け、理解しようとする姿勢を持つこと。基本的なことですが、介護の現場では欠かせない重要な視点です。

この会議を通じて、他の専門職と意見を交わしながら、地域全体での介護支援の充実に向けた学びを深めることができました。



地域と施設をつなぐ交流の輪 ～聖和園地域交流会～

11月17日（日）、聖和園デイサービスホールにて「聖和園地域交流会」が開催されました。地域交流委員会主催のこのイベントには、地域の方々41名と聖和園職員が参加し、「地域の一員として信頼される施設」を目指す取り組みの一環として行われました。

当日は、大野市の消防署職員と防災防犯課の方による防災講義が行われ、参加者の防災意識を高める貴重な機会となりました。その後、職員によるエレクトーン演奏やセラバンド体操で楽しいひとときを共有。コーヒーやココアを囲みながら会話も弾み、参加者同士の交流がより深まりました。

参加者からは「学びも楽しみもある貴重な時間だった」との声が多く寄せられ、地域と施設の絆がさらに強まる機会となりました。



地域とつながる介護の未来 ～わらびようデイサービス運営推進会議～

11月20日、聖和園会議室にて「認知症対応型通所介護 わらびようデイサービスセンター」の運営推進会議が開催されました。市職員、介護支援専門員、利用者様のご家族など7名が参加し、事業報告や施設の取り組みについての説明と意見交換が行われました。

この会議は、施設運営の透明性を保ち、地域との連携を深めることを目的に年2回実施されています。利用者様の活動の様子やサービス内容をスライドショーで紹介しながら、具体的な事例を交えて報告しました。

参加者からは、「利用者目線で考えられたサービスが伝わる」「ここで預かってもらえて本当に良かった」といった嬉しい感想が寄せられました。こうした意見交換を通じて、地域とともに支える介護のあり方を考え、より安心して利用できる施設づくりを目指していきます。



おわりに

地域とのつながりを大切にしながら、専門職が連携し、より良い介護環境を築くことが求められています。今回ご紹介した会議や交流会を通じて、私たちも多くの学びを得ることができました。これからも地域の皆様と共に歩みながら、安心して暮らせる支援体制を整えていきます。



新人紹介

佐々木 祥子

Q1.好きな食べ物は？
チョコレート

Q2.趣味は？
買い物

Q3.尊敬する人は？
両親

～ひとこと～
ご利用者の思いに
寄り添うような介護を
していきたいです。



佐倉 孝一

Q1.好きな食べ物は？
りんご、そば、とうふ

Q2.趣味は？
音楽をきく

Q3.尊敬する人は？
喜多山さん

～ひとこと～
よろしくお願いします。



福井県済生会 聖和園

理念 利用者の立場で考える

基本方針

- 一、地域の一員として信頼される施設
- 二、変革していく施設
- 三、ともに学び、活力溢れる施設
- 四、尊厳を保持し自立を支援していく施設

行動基準

真心・礼儀・協働・責任・成長・共有

感謝の広場

▽ポランティア▽
いとよミライエ
傾聴ポランティア
澤田 峯子様
山口 明美様

▽寄贈・寄付▽
福井県済生会支部
(長寿の祝い品)
黒瀬 豊敏様
広瀬 忠政様
サウンドナナマル様
※他匿名でも寄付寄贈を
頂きました

たくさんの方々の御好意
ありがとうございました